

令和5年度
2023

私費外国人留学生選抜
学生募集要項

ADMISSION GUIDE FOR FOREIGN STUDENTS

薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

経済学部

Faculty of Economics

人文社会学部

School of Humanities and Social Sciences

芸術工学部

School of Design and Architecture

総合生命理学部

Biology and Integrated Sciences

名古屋市立大学

NAGOYA CITY UNIVERSITY

目 次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
人文社会学部からのお知らせ	10
1 募集人員	11
2 出願資格	11
3 障害等を有する入学志願者との事前相談	13
4 出願手続	13
5 選抜方法	18
6 試験場	20
7 合格発表	21
8 入学手続	21
9 入学初年度納付金額	21
10 入学後に必要となる主な経費について	22
11 試験場及び学生課入試係案内	23
12 個人情報の取扱い	25
13 留学生の皆さまへ	25
14 教養教育・各学部の概要	27

緊急時における大学からのお知らせについて

新型コロナウイルス感染症の状況により、本募集要項の内容を変更する必要がある場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

薬学部

《理念と目的》

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

- 医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

- 科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

●国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

●生命科学としての薬学への向学心を有する人（生命薬科学科）

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

●医療人としての自覚を持てる人（薬学科）

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

●大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

修得しておくべき知識等の内容・水準

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習します。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語、英語）が必要とされます。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておく必要があります。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましいです。

選抜方法

志望する学科で必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。

【私費外国人留学生選抜】

日本語で講義・実習を遂行できる程度の日本語能力を有し、数学、化学、英語について十分な水準の学力がある学生を選抜する。

日本留学試験では、日本語、数学、理科（化学を必須とする）の基礎学力をはかる。

TOEICによって、英語力をはかる。

個別学力検査（面接試験）では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

経済学部

《理念と目的》

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

- 異文化についての理解力があり、進んで日本社会にとけこみ、将来は名古屋地域と出身地・出身国との友好に資するはたらきをする志と能力を持っている人
- 経済・経営分野に強い関心を持っている人
- 前向きの学習意欲を持っている人
- 自分で明確な目標を持っている人
- 豊かな教養の形成を目指す人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 自らの意見を述べ、アピールできる日本語の表現力
- 自分の考えを表現できる日本語の作文力
- 人間の行動を理解するための幅広い知識

入学者選抜の方針

経済・経営分野の土台となる基礎学力や専門学科で学んだ専門知識を確認するために調査書や取得資格などによる総合評価を行います。さらに、小論文や面接を通じて、経済・経営の学習に十分対応できる知識とそれを利活用した思考力、判断力、表現力を確認します。これらを総合的に判断して、本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーにかかる資質を確認します。

人文社会学部

《理念と目的》

- 人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
- 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
- 少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

《アドミッション・ポリシー》

人文社会学部では次のような人の入学を期待している。

求める学生像

- 人間・社会・文化に関わる諸問題に関心をもち、持続可能な社会の形成に向けて、学際的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人
- 日常、当たり前になっている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
- 学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国語・英語・数学において十分な基礎学力を有すること
- 自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、他者の声に傾聴するなど十分なコミュニケーション能力を備えていること

入学者選抜の基本方針

高等学校等で学習する全ての教科が人文社会学部教育の土台になるため、いずれの入試においても、調

査書の評定、または、大学入学共通テスト等で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

《心理教育学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 日本への関心や勉学の意欲をもち、将来、日本での留学経験を生かそうとする人
- 国内外の保育・教育、または子どもの発達を科学的に探究していくことに関心をもち、子どもに関連する現代的諸課題の緩和または解決に向けて他者と協力し合い、建設的な議論ができる人
- 多様な社会経験や異文化経験を活かし、心理学や教育学の専門的知識を学び、人が生まれ育つ環境を持続可能にすることに関与しようとする人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 学修、特に講義を理解し、レポートなどを作成するのに必要な、日本語運用能力を有していること
- ある程度の英語の運用能力を有していること

入学者選抜の基本方針

小論文試験により、心理学・教育学の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等を確認します。さらに日本語による面接を行い、日本国内外の心理学・教育学の学びに向かう力や人間性及び本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。英語運用能力はTOEIC公開テスト(Listening & Reading)のスコア、日本語能力は日本留学試験のスコアにより判定します。

《現代社会学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
- 現代社会の諸問題について、自らどのような問題であるか考え、探究し、社会科学の諸分野を幅広く深く学び、社会調査などの基本的スキルを身につける意欲のある人
- 大学での社会科学学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 日本での学修に支障のない日本語能力を有していること
- 大学での学修に必要な課題発見力、論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること

入学者選抜の基本方針

日本留学試験及びTOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績並びに本学が実施する日本語による小論文、日本語による面接試験では、現代社会学科の学修に十分対応できる知識とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等、本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

《国際文化学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 日本文化や日本社会に関心を持ち、日本での留学経験を将来の自分のキャリアに活かすことに意欲のある人
- 様々な文化や国際関係について学ぶことで、国際平和に必要な不可欠な多文化共生社会実現のために貢

献しようとする意欲のある人

- 自文化と他文化の相互関係を理解する素地として、多様な社会経験や異文化経験を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 講義を理解するために必要な日本語運用能力を有すること
- かなりの程度の英語の運用能力を有すること

入学者選抜の基本方針

多様な社会経験や異文化経験を持ち、日本での留学経験を将来の自分のキャリアに活かすことに意欲があつて、多文化共生社会実現のための貢献を目指して入学を希望する人を対象に行います。TOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績並びに本学が実施する日本語による小論文、面接試験で、将来、人文科学・社会諸科学分野の幅広い教養を身につけて国際社会に貢献しようとする志及び本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

芸術工学部

《理念と目的》

- デザイン、芸術と工学分野の幅広い知識と理論を学ぶことにより、環境の持続可能性、健康福祉など、社会的要請の強いテーマに対する問題解決能力を養います。
- デザインと工学分野の専門的知識、理論、技法を学ぶことにより、形態と機能のバランスを保ったデザイン力を養います。
- デザインの実践教育の場として、少人数学習によるデザイン実習を重視しています。
- 外国人教師による講義やワークショップ等での実習指導により、国際的に活躍できる人材を養成します。

《情報環境デザイン学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- 理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を目指す人
- 異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる基礎学力
- ユーザーインターフェイス、映像、音響分野のデザインや造形およびメディア表現の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの口述および文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

選抜方法

大学入学共通テストは免除するが、日本留学試験およびTOEICの成績を参考に、情報工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。さらに、全て日本語による小論文、実技および面接を実施し、論理的記述力、基礎的描写力に加えて、主体的な学習意欲、判断力、表現力、協調性等を評価する。

《産業イノベーションデザイン学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、工学およびデザイン分野においてイノベーションを創出できる技術者およびデザイナーとして、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 現代社会の諸問題を、芸術的手法および工学的手法で解決することに興味を持つ人
- 電子・情報・ロボット工学などの先端工学技術およびプロダクト・グラフィックなどの高度デザイン技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し工学およびデザインの知識により解決策を提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- 異文化経験を持ち、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 電子・情報・ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- プロダクト・グラフィック・3DCG分野のデザイン実習や造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの口述および文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力

選抜方法

大学入学共通テストは免除するが、日本留学試験およびTOEICの成績を参考に、工学・デザインを学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。さらに、全て日本語による小論文、実技および面接を実施し、論理的記

述力、基礎的描写力に加えて、主体的な学習意欲、判断力、表現力、協調性等を評価する。

《建築都市デザイン学科 私費外国人留学生選抜 アドミッション・ポリシー》

求める学生像

建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- 継続的な努力ができる人
- 自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- 人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- 大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- 多様な社会や異文化に興味を持つ人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 文章の読解、考えの口述および文章表現、円滑なコミュニケーションのための日本語力と英語力
- 建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- 建築学・都市学および人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養
- 文章による論理的記述力および素描による基礎的描写力

選抜方法

大学入学共通テストは免除するが、日本留学試験およびTOEICの成績を参考に、建築学・都市学を学ぶ上で必要な基礎学力を評価する。さらに、全て日本語による小論文、実技および面接を実施し、論理的記述力、基礎的描写力に加えて、主体的な学習意欲、判断力、表現力、協調性等を評価する。

総合生命理学部

《理念と目的》

《人材養成に関する目的》

- 生命科学を中心に、自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成する。
- 理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成する。
- グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成する。

《アドミッション・ポリシー》

求める学生像

- 生命科学、物質科学、数理情報科学のいずれか、又は複数に関心があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
- 理学を学ぶための基礎学力と語学力（日本語力・英語力）を修得している人

- 現象を観察し、そこに様々な疑問を持ち、その解決に強い興味を持つ人
- 論理的な思考能力で適切に判断し、結論を導ける人
- 主体的に行動し、協調性や高い倫理観を持って諸問題に対処できる人
- 自らの考えを適切に他人に伝え、互いの考えを深められるコミュニケーション力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 大学で学ぶ上で必要な理系科目及び文系科目の高い学力を有すること
- 理系科目の学修に必要な数学的素養を身につけていること
- 大学で学ぶ上で必要な語学（日本語及び英語）に関する知識及び能力を有すること
- 論理的な思考能力を有すること

選抜方法

大学の理学分野の学修に必要とされる日本語、数学、理科の基礎学力を日本留学試験で確認します。大学で学ぶ上で必要な英語に関する知識及び能力をTOEIC公開テスト（Listening & Readingに限る）の成績で確かめます。面接によって、科学に関する好奇心や探究心、論理的な思考能力、コミュニケーション能力などを評価します。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

人文社会学部からのお知らせ

人文社会学部においては、各種の資格・免許が取得できますが、複数の資格・免許の取得を目指す場合や、他学科で開講する授業科目を履修することで取得できる資格・免許については、4年間で取得できない場合があります。受験される学科を選択される際には特にご注意ください。

資格・免許	心理教育学科	現代社会学科	国際文化学科
幼稚園教諭一種免許状、保育士資格	○	×	×
中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民）	△	○	△
中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）	△	△	○
社会福祉士国家試験受験資格	△	○	△
社会調査士資格	×	○	×
認定心理士資格	○	×	×
公認心理師試験受験資格（※）	○	×	×

○：在籍する学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。

△：他学科において開講する授業科目を履修することで、資格・免許が取得できます。ただし、4年間で取得できない場合があります。

×：在籍する学科では資格・免許を取得できません。

※公認心理師試験の受験資格取得には、公認心理師法施行規則に定める所要の科目を開設する大学院において、所要の単位を修得して修了する必要があります。ただし大学院の履修については、省令で定められた施設において、実習指導者の資格を有する者による指導を受けながら2年以上の実務経験で代替することもできます。

1 募集人員

募 集 単 位		人 員
薬 学 部	薬学科(6年制) *1	若 干 名
	生命薬科学科(4年制)	
経 済 学 部 *2		若 干 名
人 文 社 会 学 部 *3	心理教育学科	若 干 名
	現代社会学科	若 干 名
	国際文化学科	3名 *4
芸 術 工 学 部	情報環境デザイン学科	帰国生徒・外国学校出身者選抜と合わせて若干名
	産業イノベーションデザイン学科	
	建築都市デザイン学科	
総合生命理学部		若 干 名

*1 薬学科(6年制)では、卒業により薬剤師国家試験受験資格が与えられます。

*2 経済学部の入学試験は学部全体として実施し、公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科への振分けは2年進級時に行います。

*3 受験する学科を選択する際に、必ず10ページに掲載している「人文社会学部からのお知らせ」をご覧ください。

*4 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜(前期日程)で補充します。

2 出願資格

次の各号のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く。) ※1
- (2) 次のいずれかに該当する者(ただし、下記のいずれかに該当していても、日本の高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業した者は除く。)
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ※2 ※3
 - イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)を有し、その資格に3科目以上合格している者
 - カ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)から教育活動に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和3年度第1回日本留学試験(2021年6月実施)、令和3年度第2回日本留学試験(2021年11月実施)又は令和4年度第1回日本留学試験(2022年6月実

施)を受験した者 ※4

なお、薬学部については、日本語（聴解・聴読解、読解の合計点）、数学、及び理科2科目それぞれの得点が、いずれも全国平均点以上である者。

(4)「TOEIC公開テスト (Listening & Reading)」を受験した者

- ※1 日本国籍を有する二重国籍者は出願することができません。
- ※2 12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程等を修了する必要があります。
- ※3 「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」には次のものが含まれます。
 - ・外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。以下、同じ。）に合格した者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの。
 - ・外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了したもの。
 - ・外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了したもの。
 - ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了したもの。
 - ・我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの。
- ※4 日本留学試験の利用科目等（下表のとおり）

募集 単位	薬学部	経済学部	人文社会学部	芸術工学部	総合生命 理学部
利用 科目	[理系] 日本語 数学(コース2) 理科(化学に加え、物 理・生物いずれかを 選択)	[文系] 日本語 総合科目 数学(コース1・2 いずれかを選択)	[文系] 日本語 総合科目	[理系] 日本語 数学(コース2) 理科(物理・化学・ 生物から2科目選択)	[理系] 日本語 数学(コース2) 理科(物理・化学・ 生物から2科目選択)
出題 言語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語

3 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和4年9月2日(金)までに必ず本学 学生課入試係へ申し出てください。

(1) 事前相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書（診断書等の必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる代理人等との面談等を行います。

(2) 連絡先 本学 学生課入試係 (TEL 052-853-8020)

4 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送又は持参により提出してください。（出願期間内に本学へ書類が提出されない場合は、受験できませんのでご注意ください。）

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	入学検定料の支払い前に 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ、書留速達郵便で送付又は持参してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続きは完了しません。下記出願期間内に「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送又は持参で提出することで完了します。

(1) 出願期間

令和4年11月1日(火)から令和4年11月7日(月)16:00 (必着)

※消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。持参の場合、窓口での受付時間は上記出願期間の9：00～17：00まで（最終日の11月7日（月）のみ16:00まで。また、12：00～13：00及び土日祝日は除く。）です。

※インターネット出願システムへの登録期間は、令和4年10月24日（月）9:00から令和4年11月7日（月）16:00までです。

(2) 出願書類の提出先

名古屋市立大学 学生課入試係 （23・24ページ図参照）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 桜山キャンパス （TEL 052-853-8020）

(3) 出願書類の提出方法

ア 差出人は志願者名とし、自身で市販の角型2号封筒を用意し、宛名ラベルを貼り付け、学生課入試係へ郵送又は持参してください。

イ 出願期間を過ぎた場合は受理しません。

ウ 国外在住者が出願する場合は、国外からの郵送による出願書類の提出は認めませんので、必ず日本国内在住の代理人が手続を行ってください。本学からの通知も代理人宛に行います。

(4) 出願に必要な書類等（すべて日本語で入力及び記入してください。）

		提出書類	説 明
インターネット出願システムから印刷する書類	ア	入学志願票（提出用）	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから白色のA4用紙に印刷してください。（カラー、モノクロのどちらでも可） 顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 入力上の留意事項については17ページを参照
	イ	宛名ラベル（出願封筒用）	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒（各自でご用意ください。）に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。 1つの封筒には1名分のみとし、2名分以上封入してはいけません。
掲載する出願書類所定用紙	ウ	履歴書（本学所定用紙）	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で記入してください。 本学所定の様式（履歴書）及び記入例については本学ウェブサイトに掲載しています。 本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>学生募集要項（一般・推薦・留学生・帰国生徒等） https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/guide/から様式をダウンロードの上、作成してください。
その他必要な書類	エ	日本の高等学校に相当する学校の卒業証明書	出願資格(2)アにより出願する者のみ <ul style="list-style-type: none"> 再発行ができないものについては、原本のコピーを提出してください。（入学手続き時に原本を確認します。） 出願資格(2)アの「文部科学大臣の指定したも
	オ	日本の高等学校に相当する学校の成績証明書	

	カ	卒業証明書の日本語訳 (原本のコピーに日本語訳を書いてください。)		の」に該当する場合は、提出書類について、学生課入試係まで問い合わせてください。
	キ	成績証明書の日本語訳 (原本のコピーに日本語訳を書いてください。)		
	ク	国際バカロレア資格証書 及び最終試験6科目の 成績証明書	出願資格(2)イ により出願する 者のみ	
ケ	ドイツのアビトゥア資格 (一般的大学入学資格証明書) 及び試験科目の成績証明書	出願資格(2)ウ により出願する 者のみ		
コ	フランスのバカロレア 資格証書及び 試験科目の成績証明書	出願資格(2)エ により出願する 者のみ		
その他必要な書類	サ	ジェネラル・サーティフィケート・ オブ・エデュケーション・ アドバンスト・レベル資格 (GCEAレベル資格)証書	出願資格(2)オ により出願する 者のみ	<ul style="list-style-type: none"> 再発行ができないものについては、原本のコピーを提出してください。 (入学手続き時に原本を確認します。) 資格証書及び成績証明書の日本語訳(原本のコピーに日本語訳を書いてください。原本に直接記入しないこと。)も提出してください。
	シ	日本留学試験の受験票 または 成績通知書のコピー	<ul style="list-style-type: none"> 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和3年度第1回日本留学試験(2021年6月実施)、令和3年度第2回日本留学試験(2021年11月実施)又は令和4年度第1回日本留学試験(2022年6月実施)のものであること。 受験票または成績通知書のどちらかのコピーを提出すること。 本学受験のために自分が利用する回のものを出すること。 試験当日に受験票の原本を持参すること。 	
	ス	TOEIC公開テストの公式スコア	<ul style="list-style-type: none"> 原本(コピーは不可)を提出してください。 TOEIC公開テストの種類は、Listening & Readingに限ります。 ※ウェブサイトからダウンロードし、印刷された成績表は不可。 有効期限が記載されているものについては、必ず期限内のものを出すること。 	
	セ	住民票 (出願前3か月以内に発行されたもの を提出してください。コピーは不可)	<ul style="list-style-type: none"> 国籍と在留資格の記載が必要です。 在留資格が短期の者は、パスポートに押された日本の査証のコピーを提出してください。 国外在住者が出願する場合は、パスポートのコピーを提出してください。 個人番号(マイナンバー)が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。 	

(5) 入学検定料の返還

ア 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還します。該当者には、第1段階選抜結果通

知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

イ 上記アの場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還します。詳細は本学ウェブサイト

(<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。

- ・二重で支払いをした場合
- ・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も含む。)

(6) 受験票のダウンロード及び印刷

第1段階選抜の合格者及び第1段階選抜を実施しなかった学部の志願者は、令和4年11月14日(月)10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷してください。

なお、第1段階選抜の不合格者はダウンロード及び印刷ができませんので、ご注意ください(第1段階選抜の不合格者は、受験票のダウンロード画面に「1次不合格」と表示されます)。

(7) 受験案内

受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場や集合場所、その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

本学ウェブサイト>入試情報>入試実施状況>受験案内

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>

掲載期間：令和4年11月14日(月)10:00から

(8) 出願上の留意事項

ア 提出された出願書類は返却しません。

イ 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

ウ インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

エ 連絡先について変更があれば速やかに本学 学生課入試係まで郵便はがき等で連絡してください。

オ 入学試験に関する通知は、全て国内の連絡先に行います。

カ TOEIC公開テスト(Listening & Reading)は、受験後、成績が送付されるまでにかかなりの時間がかかりますので、出願期間に間に合うよう注意して受験してください。

(9) インターネット出願システム入力上の留意事項

- ア 「居住地」の欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方（名古屋市住民等）は「名古屋市内居住（1年以上）」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未満の方は「名古屋市内居住（1年未満）」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。
- イ 「住所等」の欄は、令和5年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。
- ウ 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合は、どちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。
- エ 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）の情報を入力してください。

5 選抜方法

薬学部

2段階選抜を行います。

第1段階選抜

令和3年度第1回、令和3年度第2回又は令和4年度第1回日本留学試験（試験科目は12ページ「※4 日本留学試験の利用科目等」で確認すること。）の成績により合格者を決定します。

第1段階選抜の不合格者に対して、第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を令和4年11月14日（月）に発送します。

第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、日本語による面接試験を課し、その結果並びに日本留学試験、TOEIC公開テスト（Listening & Reading）の成績により総合判定します。

面接試験日程

期 日	時 間	内 容	その他・特記事項
令和4年 11月26日（土）	13：30～	日本語による 面接試験	必要に応じ、化学の基礎知識について、ホワイトボード又は紙上に記入させ、説明を求める場合があります。

注）当日は、本学の受験票とともに日本留学試験の受験票（本学受験のために自分が利用する回のもの）の原本を持参してください。

経済学部

2段階選抜を行います。

第1段階選抜

令和3年度第1回、令和3年度第2回又は令和4年度第1回日本留学試験（試験科目は12ページ「※4 日本留学試験の利用科目等」で確認すること。）及びTOEIC公開テスト（Listening & Reading）の成績により合格者を決定します。

第1段階選抜の不合格者に対して、第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を令和4年11月14日（月）に発送します。

第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、日本語による小論文及び日本語を中心にした面接試験を課し、その結果並びに日本留学試験、TOEIC公開テスト（Listening & Reading）の成績により総合判定します。

小論文及び面接試験日程

期 日	時 間	内 容
令和4年 11月26日（土）	10：00～11：30	日本語による小論文
	13：30～	日本語を中心にした面接試験（必要に応じ、英語の基礎学力を問う面接試験を行う場合があります。）

注1）当日は、本学の受験票とともに日本留学試験の受験票（本学受験のために自分が利用する回のもの）を持参してください。

もの)の原本を持参してください。

注2) 小論文、面接試験のうち、一つでも受験しないものがある場合は、不合格となります。

人文社会学部

令和3年度第1回、令和3年度第2回又は令和4年度第1回日本留学試験(試験科目は12ページ「※4 日本留学試験の利用科目等」で確認すること。)及びTOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績並びに本学が実施する日本語による小論文、日本語による面接試験の結果により総合判定します。

小論文及び面接試験日程

期 日	時 間	内 容
令和4年 11月26日(土)	10:00~11:30	日本語による小論文
	13:30~	日本語による面接試験

注1) 当日は、本学の受験票とともに日本留学試験の受験票(本学受験のために自分が利用する回のもの)の原本を持参してください。

注2) 小論文、面接試験のうち、一つでも受験しないものがある場合は、不合格となります。

芸術工学部

2段階選抜を行います。

第1段階選抜

令和3年度第1回、令和3年度第2回又は令和4年度第1回日本留学試験(試験科目は12ページ「※4 日本留学試験の利用科目等」で確認すること。)及びTOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績により合格者を決定します。

第1段階選抜の不合格者に対して、第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を令和4年11月14日(月)に発送します。

第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、日本語による実技試験、小論文及び面接試験を課し、その結果並びに日本留学試験、TOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績により総合判定します。

小論文、実技試験及び面接試験日程

期 日	時 間	内 容
令和4年 11月26日(土)	10:00~11:00	実技試験(日本語による出題) (スケッチ、デッサン等)
	11:20~12:20	日本語による小論文
	13:30~	日本語による面接試験

注1) 当日は、本学の受験票とともに日本留学試験の受験票(本学受験のために自分が利用する回のもの)の原本を持参してください。

注2) 実技試験のため、受験者は試験当日、次の物品を持参していただく予定です。(規格・品質・個数は問いません。) 詳細については、受験票送付の際にご連絡します。

ア 鉛筆(4H～6B程度のもの各種)

イ カッターナイフ、小刀または鉛筆削り器(ただし電動及び手動ハンドル回転式は不可)

ウ 練り消しゴム

エ プラスチック消しゴム

注3) 実技試験、小論文、面接試験のうち、一つでも受験しないものがある場合は、不合格となります。

総合生命理学部

2段階選抜を行います。

第1段階選抜

令和3年度第1回、令和3年度第2回又は令和4年度第1回日本留学試験(試験科目は12ページ「※4 日本留学試験の利用科目等」で確認すること。)の成績により合格者を決定します。

第1段階選抜の不合格者に対して、第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を令和4年11月14日(月)に発送します。

第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、日本語による面接試験を課し、その結果並びに日本留学試験、TOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績により総合判定します。

面接試験日程

期 日	時 間	内 容	その他・特記事項
令和4年 11月26日(土)	13:30～	日本語による 面接試験	必要に応じ、数学、理科の基礎知識について、ホワイトボード又は紙上に記入させ、説明を求める場合があります。

注) 当日は、本学の受験票とともに日本留学試験の受験票(本学受験のために自分が利用する回のもの)の原本を持参してください。

6 試験場 (23・24ページ図参照)

名古屋市立大学 滝子キャンパスで実施する予定です。

当日は、受験票(本学のもの)、筆記用具(鉛筆・消しゴム)、日本留学試験の受験票(本学受験のために自分が利用する回のもの)、芸術工学部受験にあつては実技試験に必要な用具を持参して、試験開始20分前までに集合してください。

集合場所については、受験案内でご確認ください。

試験場の変更等がある場合には、このときに併せて通知します。

7 合格発表

(1) 日 時 令和4年12月6日(火) 10:00

(2) 方 法 合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、入学許可書及び入学手続関係書類を合格者宛に送付します。(電話等による問合せには、一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。)

不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで可否を確認してください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

なお、合格しているにもかかわらず通知が、令和4年12月13日(火) 11:00までに未到達の場合に限り、同日17:00までに本学 学生課入試係にお問い合わせください。

8 入学手続

(1) 日 時 令和4年12月20日(火) 13:00~16:00

(2) 場 所 本学 桜山キャンパス本部棟 (23・24ページ図参照)

(3) 方 法 当日は本学の受験票及び日本留学試験の受験票(本学受験のために自分が利用する回のもの)、入学時納付金納付証明書等を持参して手続してください。(入学手続の詳細は合格者に送付する「入学手続のお知らせ」でお知らせします。)

※上記の日時に手続できない場合は、書留速達郵便により令和4年12月19日(月)までに必着で手続書類を送付してください。

※上記の受付日時に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして扱います。

9 入学初年度納付金額

(1) 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

注 1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。

2 入学料、授業料は、令和4年4月入学者の金額です。令和5年度入学者については改めてお知らせします。

3 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。

4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

(2) 諸団体納付金

区 分	薬 学 部		経済学部	人文社会学部	芸術工学部	総合生命 理学部
	薬 学 科	生命薬科学科				
後 援 会 費	90,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円
同 窓 会 費	20,000円 (薬友会)	20,000円 (薬友会)	30,000円 (瑞山会)	15,000円 (瑞桜会)	20,000円 (萱光会)	20,000円 (瑞滝会)
交 流 会 費	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
学 友 会 費	11,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,000円
経 済 学 会 費	—	—	6,000円	—	—	—
学生教育研究 災害傷害保険料	4,800円	3,300円	3,300円	3,300円	3,300円	3,300円
学 研 災 付 帯 賠償責任保険料	2,040円	1,360円	—	1,360円	1,360円	1,360円
計	132,840円	97,660円	112,300円	92,660円	97,660円	97,660円

注 1 入学手続き時に入学料とあわせて納付してください。

注 2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学書類送付時にお知らせします。

注 3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。なお、薬学部薬学科のみ、病院等で臨床実習を行う学生を対象とした接触感染予防保険金支払特約が含まれています。

注 4 学研災付帯賠償責任保険は、特定の学部のみ入学時に全員加入となります。正課（実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

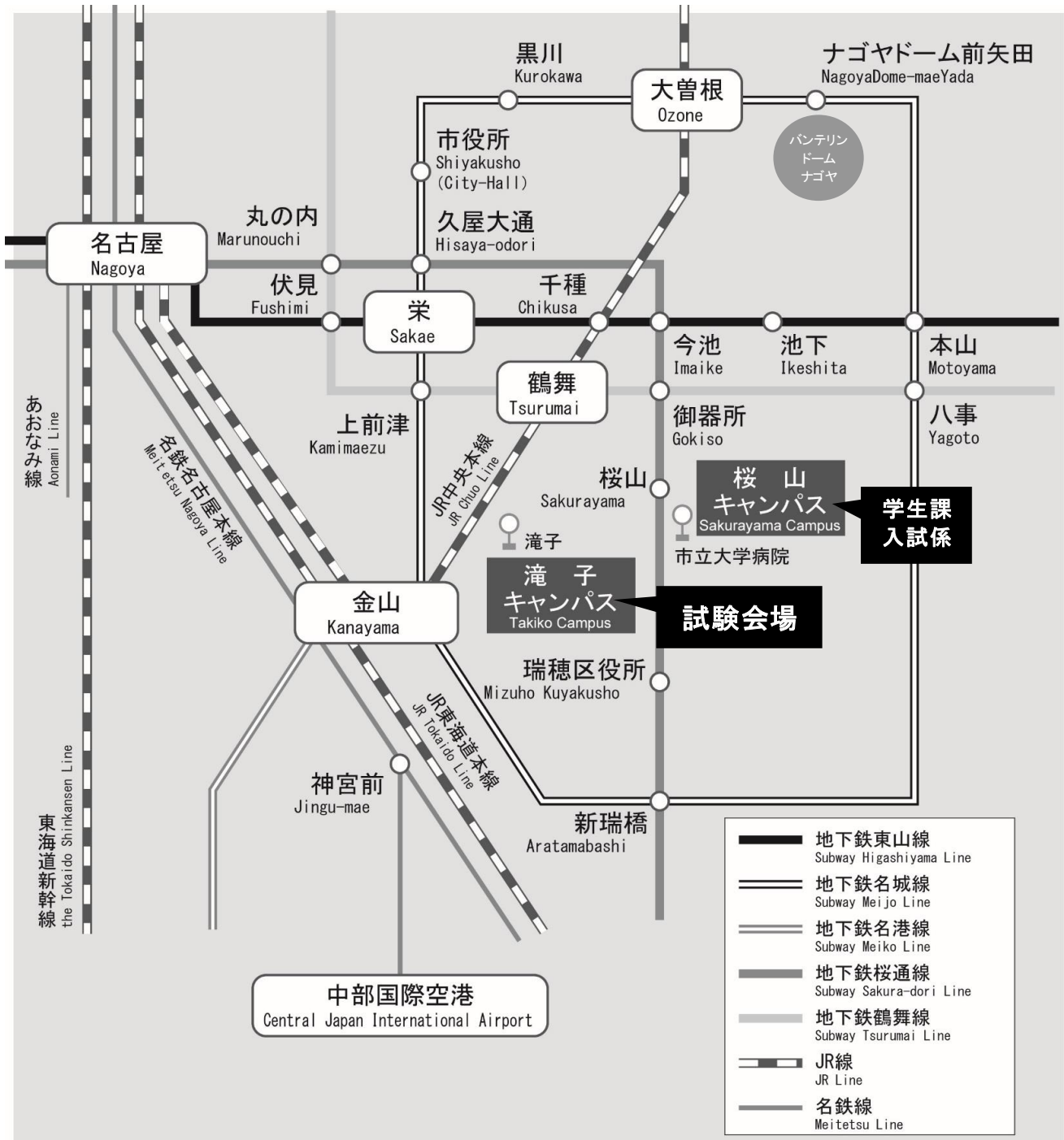
10 入学後に必要となる主な経費について

入学以後、学部によって以下の経費が必要になります。

- ・ 全国統一の共用試験受験料
- ・ 感染予防ワクチン接種料
- ・ リメディアル教育経費
- ・ 学外実習費等の経費

11 試験場及び学生課入試係案内

下記については参考として掲載しております。必ず、直前にご自身で確認の上ご利用ください。

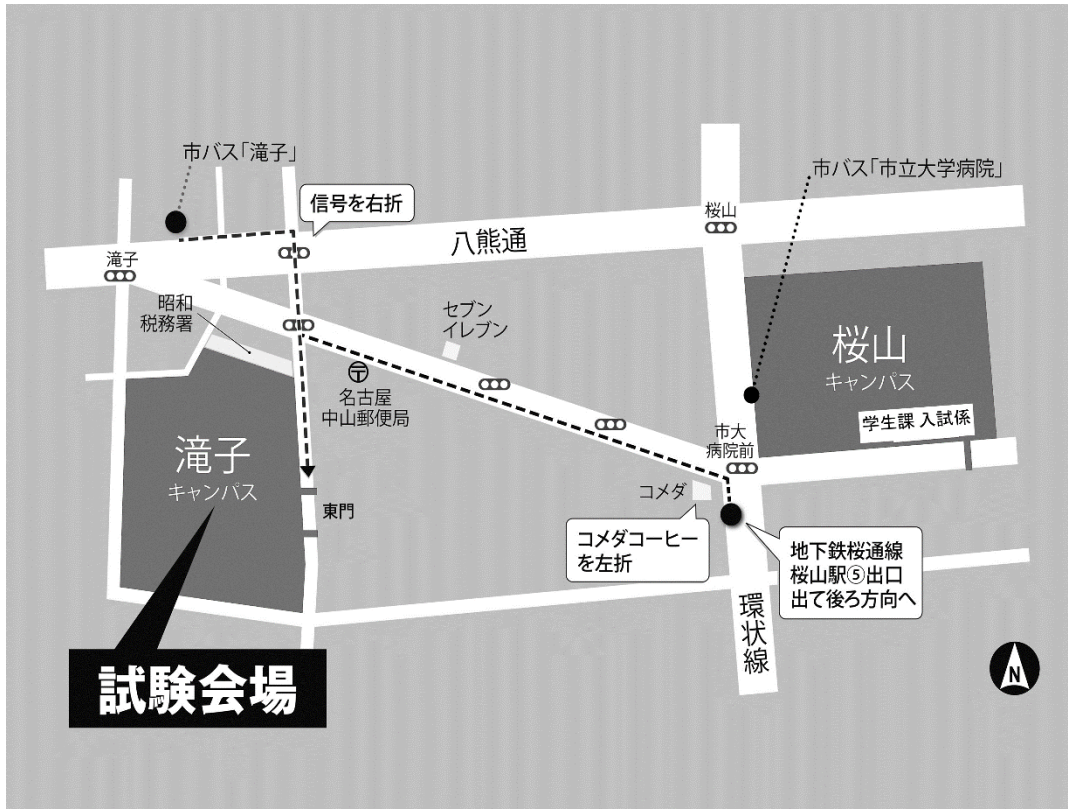


敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> 滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください バス所要時間はいずれも約15分 バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
				桜山経由金山		
	8番	金山14		桜山経由瑞穂運動場東		

12 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）

ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

13 留学生の皆さまへ

名古屋市立大学では、現在、大学院生も含めて161名の外国人留学生在が学んでいます。

本学では次のような制度を設けて、留学生が有意義な大学生活をおくることができるように援助を行っています。

(1) 宿 舎

本学には、外国人留学生のための留学生宿舎があります（居室数60室）。

※ただし、入居希望者が多数の場合は入居できないことがあります。その他に、公益財団法人名古屋国際センター国際留学生会館（入居期間1年以内。但し、翌年1年間に限り入居期間を延長できます。）や民間企業の留学生向け宿舎の募集について案内します。

問い合わせ先：学生課国際交流係

TEL：052-872-5163 FAX:052-872-5044

E-mail：ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

(2) 授業料減免

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、選考の上、授業料の全額、又は一部が免除される制度があります。

※ただし、必ず減免が認められるわけではありません。

(3) 奨学金

各種団体の奨学金について案内します。

(4) 日本語科目の履修

外国語の履修において、留学生は日本語を正規の科目として選択することができます。

(5) 外国人留学生特別指導員制度（チューター制度）

学部の外国人留学生には希望により日本人のチューターを紹介します。

チューターは、授業の予習・復習や試験の準備等の学習及び区役所への届出など生活に係る個別の課外指導、助言等を行います。

参考：名古屋での生活費

名古屋での生活費は、1か月に10万円以上を必要とします。1年間で授業料を含めて180万円以上の費用が必要となります。

1ヶ月の生活費(大学周辺で生活した場合の最低程度の目安です)

家賃	35,000円
食費	25,000円
電気・ガス・水道料・通信費(携帯電話、インターネット費用)	15,000円
授業料以外の学習に要する費用(書籍の購入費用など)	10,000円
その他費用(交通費、医療保険費、娯楽費など)	15,000円
合計	100,000円

学習の成果を効果的に身に付け、研究を充実させるためには、授業時間外の学習・研究時間の確保が重要です。留学生が就くことができるアルバイトは、時間や職種が限られ、1時間当たりの賃金は955円から1,000円前後となっています。学習・研究に必要な時間を考慮して、アルバイト収入に過度の期待をしないでください。学部・研究科によってはアルバイトに充てる時間を確保できない場合があります。

日本の企業に就職する場合、企業の説明会や採用試験、面接のため遠方に出かけることがあり、交通費等諸経費が必要です。

また、奨学金や授業料減免は、申し込んだ学生の全員が採用されるわけではありません。

アルバイト収入や授業料減免、奨学金に頼らないよう計画を立てたうえで志願してください。

14 教養教育・各学部の概要

教養教育・専門教育いずれも令和4年度の授業科目を紹介しています。

(1) 教養教育

社会の一員として自己のあり方を認識し、自らよりよき生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現に向けて貢献ができるよう、人間形成を図るとともに、専門教育への確かな土台を築くことを意図して、下記のような授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成しています。

区 分		科 目 名
共 通 科 目	大学特色科目	主体的学習のための基礎演習 心豊かに健康に生きるための学び キャリア形成に備えた学び キャリアに関わる学び NCU先端科目（医療系 自然・情報系 社会科学系 人文系） 地域社会で活躍する女性 共生社会におけるふれあいネットワーク 現代社会と人と地域のつながり 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 ESDと地域の環境 多文化共生と国際貢献 ワークライフバランスとダイバーシティ まちづくり論 次世代エネルギーワークショップ 起業家になる 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 中国短期語学研修 フランス短期語学研修
	現代社会の諸相	日本国憲法 なぜ憲法が必要なのか 法学入門 知的財産権入門 人と法と医療 経済と社会 経済のしくみ 経済学の考え方 企業と社会、個人の関係 企業活動の諸相 組織を取り巻く諸環境について 社会学 社会環境論 新聞報道の現場から 環境行動学と情報リテラシー 平和論 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 国際政治と社会 フィールド研究からみるアジア キー・コンピテンシー シティズンシップ入門 地域力を高めるひとつづくり
	文化と人間性の探求	琉球・沖縄の歴史・文化を識る 日本文化の理解 人類学 日本語コミュニケーション 囲碁に学ぶ 死の文化学 東ヨーロッパの文化と歴史 文化に見る歴史 欧州史の中の北欧史 アメリカ史入門 都市と地域構造の地理学 音楽と文化 デザインと情報 人間と表現 自分とみんなで考える哲学 討論の中で問題を発見する哲学 応用倫理学－生命倫理の現在 心理学概論 心理学入門 現代教育の諸相 次世代育成と地域の課題 宗教学入門
	人間と自然	科学史 環境と社会・制度・政治・経済 環境科学 植物の多様性と環境 動物とヒトの進化多様性 社会と医学 くずりと社会 都市と自然 健康と生活 行動生態学
	自然と数理の探求	教養として知っておきたい様々な病気の実態 創薬と生命 宇宙のなりたち 植物とバイオテクノロジー エネルギーのサイエンス バイオサイエンス入門 情報と数理の世界 データサイエンスへの誘い 地球史入門 地域生態学
	英 語	IS: Community IS: Social Justice IS: Life & Work IS: Health & Well-being IS: The Arts AE: Make a Difference in Your Community AE: Interact Internationally AE: Improve Life Skills AE: Raise Health/Environmental Awareness AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Grammar and Usage CS: TOEIC Preparation EM: World News EM: Popular Culture EM: Reading for Inspiration EM: Online Articles and Videos
	その他の言語	ドイツ語初級・初級会話 フランス語初級・初級会話 中国語初級・初級会話 韓国語初級 スペイン語初級 日本手話初級 ポルトガル語入門 ロシア語入門 イタリア語入門 アラビア語入門 日本語上級 日本語リーディング・リスニング 日本語ライティング 日本語プレゼンテーション 日本語ディスカッション 日本語レポート作成
	情報科目	情報処理基礎 情報処理応用 情報処理 情報検索基礎
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学 健康・スポーツ実技
	ボランティア科目	
基 礎 科 目	物 理 学	物理学基礎 力学 電磁気学
	化 学	化学概論 化学基礎 化学熱力学基礎 有機化学
	生 物 学	基礎生物学 生物学基礎 生物学
	自然科学実験	自然科学実験
	数学・統計学	微分積分学 線形代数学Ⅰ・Ⅱ 数学A1・A2 数学B1・B2 統計学A・B 数学基礎 応用数学 数学基礎演習 応用数学演習
	地域参加型学習	医薬看連携地域参加型学習 地域連携参加型学習
	早期体験学習	生命薬科学研究入門

※学部によって、履修可能な科目が異なります。

※それぞれの母語科目を履修してその他の言語の必要単位とすることはできません。ただし、その他の言語の中に日本語を含むことができます。

(2) 専門教育（薬学部）薬学科（6年制）・生命薬科学科（4年制）

「カリキュラムの概要と進路」

薬学科では、医薬品と薬物療法に関わる医療科学を総合的に学び、薬剤師国家試験の受験資格を得ることができます。薬剤師をはじめ、医療に関わる種々の分野に貢献できる人材を育成することを目指した6年間の教育課程となっています。

生命薬科学科では、創薬生命科学の基礎から先端にいたる幅広い知識を学びます。それを基盤にした医薬品の開発研究者をはじめ、生命科学と医療の発展に貢献できる人材を育成することを目指した4年間の教育課程となっています。

両学科の教育課程ともに、講義、実習、卒業研究を通じて体系的かつ実践的に専門能力を身に付けることができるようになっていきます。また、これまで薬学部卒業生の多くは大学院に進学し、さらに高度な創薬生命科学又は医療機能薬学を身に付けた上で、医薬品の開発研究者や高度医療に貢献する薬剤師として活躍しています。

区 分	科 目 名
基礎薬学科目	薬学概論Ⅰ・Ⅱ 先端薬科学 機能形態学Ⅰ・Ⅱ 薬学物理化学Ⅰ～Ⅲ 構造生物学 薬品分析化学 機器分析化学 薬学有機化学Ⅰ・Ⅱ 薬学無機化学 基礎生物化学 生物薬品化学Ⅰ・Ⅱ 衛生化学 環境衛生学 微生物薬品学 細胞生物学 生薬学Ⅰ・Ⅱ 漢方薬物治療学 医薬品代謝学 放射薬品学 薬理学Ⅰ～Ⅳ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 薬剤学Ⅰ・Ⅱ 製剤学Ⅰ・Ⅱ 有機反応化学Ⅰ～Ⅳ 免疫学 病態生化学 医薬品情報学 医療経済学 生物統計学Ⅰ・Ⅱ 薬事関連法・制度Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 薬学英語Ⅰ～Ⅳ 医薬品化学 生物有機化学
医療薬学科目 ^{a)}	薬局管理学 医療薬学Ⅰ～Ⅵ
生命薬科学科目 ^{b)}	有機金属化学 コロイド・高分子科学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジー 分子感染症学 分子神経科学 ドラッグデリバリー論 創薬科学・知的財産活用論 生命薬学技術
演習科目	有機化学演習 薬学情報処理演習 プレゼンテーション演習 基礎薬学演習 薬学演習Ⅰ・Ⅱ 薬学特別演習 生命薬科学演習
実習科目	薬学実習（物理系実習Ⅰ～Ⅲ、化学系実習Ⅰ～Ⅳ、生物系実習Ⅰ～Ⅳ、医療機能系実習Ⅰ～Ⅲ） 臨床薬学実務実習Ⅰ～Ⅲ（事前学習、病院実習、保険薬局実習） ^{a)} 卒業研究実習
コミュニティ・ヘルスケア 卒前教育 ^{a)}	コミュニティ・ヘルスケア基礎・応用・発展・実践

a) 薬学科のみで履修する科目 ; b) 主に生命薬科学科のみで履修する科目 ; 他の科目は両学科共通

- (3) 専門教育（経済学部） 公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科
 経済現象の解明には、経験科学としての論理・実証分析が重要視されるので、政策や経営に関心を抱くと共に数理的な思考・分析能力、歴史的洞察力が必要です。

[公共政策学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 国際経済学 金融論 財政学 経済史 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 統計分析基礎 現代統治機構論 行政法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 経済学史
学科応用展開科目	金融政策論 社会保障論 インセンティブの経済学 公共政策 地方財政論 租税論 産業組織論 実験経済学 国際公共政策論 経済開発論 医療経済学 応用マクロ政策 応用公共政策 都市経済学 国際金融論 行政学 日本経済史 外国経済史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 金融システム論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 会社法 知的財産法 民法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

[マネジメントシステム学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	経営組織 経営戦略 組織行動 企業論 イノベーション・マネジメント マーケティング 労働経済学 制度経済学 経済学史 経済史 世界経済論 国際経済学 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 財務分析 財務会計 会社法 知的財産法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 管理会計
学科応用展開科目	変革マネジメント 制度と文化のマネジメント 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 決定と知識のマネジメント 生産管理 地域企業活性化論 日本経営史 日本経済史 外国経済史 外国経営史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 事例研究特論 マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 金融論 財政学 インセンティブの経済学 産業組織論 経済開発論 国際金融論 行政学 企業ファイナンス 統計分析基礎 応用財務分析 コーポレートガバナンス 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

[会計ファイナンス学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	情報処理論 簿記論 企業ファイナンス 先物・オプション入門 データ分析基礎 統計分析基礎 財務分析 財務会計 管理会計 マクロ経済学 ミクロ経済学 金融論 財政学 企業論 経営組織 経営戦略 マーケティング 会社法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政
学科応用展開科目	応用財務分析 税務会計 監査論 コーポレートガバナンス ファイナンス分析 簿記実務 会計実務 ファイナンス実務 財務情報処理 応用企業ファイナンス 金融システム論 証券投資論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 金融政策論 国際金融論 行政学 組織行動 イノベーション・マネジメント 労働経済学 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 知的財産法 民法 租税法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

(4) 専門教育（人文社会学部）心理教育学科・現代社会学科・国際文化学科

人文社会学部では、学部発足以来の「豊かで人間らしい生き方well-being」という教育・研究の目標をふまえ、「持続可能な発展Sustainable Development」が模索されているなか、ESD(Education for Sustainable Development)を「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方/あり方』を捉え直す教育」として実現することをめざし、学部共通科目としての基礎科目を設定し、それを土台として、3つの学科のカリキュラムを編成しています。

〔学部共通科目〕

基 礎 科 目	
ESD入門 (地球規模の課題) グローバル化と経済開発 多文化共生 人の移動とグローバル・シティズンシップ (地域の課題) 都市開発と自然との共生 自文化理解 マイノリティと共生	

〔心理教育学科〕

区 分	科 目 名
基 幹 科 目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 心理学概論 教育学概論2 教職概論1 発達心理学1 現代教育社会学 心理学統計法1 教育学概論1 臨床心理学概論 言語習得論
展 開 科 目	人 の 理 解 知覚・認知心理学B(認知心理学) 発達心理学2 学習・言語心理学 感情・人格心理学 神経・生理心理学 知覚・認知心理学A(知覚心理学) 動作学 現代日本語論 憲法2 人間関係論
	人 を 育 む 教育史 教育制度論 保育・教育課程総論 教育課程論 教育内容論 保育内容総論 教育方法論1・2 特別支援教育1 保育原理 教職概論2 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学A(教育心理学) 教育・学校心理学B(教育相談) 福祉心理学
	生 涯 発 達 と 環 境 社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学) 社会・集団・家族心理学B(家族心理学) 健康・医療心理学 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 教育社会学 比較教育学 多文化保育・教育論 家族社会学(家庭支援論) 児童・家庭福祉論2 環境教育論 現代都市問題 NGO論 社会的ネットワーク論 地域社会学
	心 理 ・ 教 育 の 技 法 心理学統計法2 心理学実験1・2 心理学研究法 心理的アセスメント ESD演習(スタディツアー) 子ども青少年支援演習 保育内容演習(健康・人間関係・環境・言葉・音楽的表現・造形的表現)子どもの理解と援助 子ども家庭支援の心理学 保育・教職実践演習(幼稚園) 社会調査法
関 連 科 目	社会的養護 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの健康と安全 医療と保育1・2・3 子どもの食と栄養 保育相談支援 乳児保育1・2 保育内容演習2(健康・表現) 音楽表現1・2 造形表現1・2 身体表現1・2 言語表現1 保育実習1(保育所・施設) 保育実習指導1(保育所・施設) 保育実習2 保育実習指導2 保育実習3 保育実習指導3 学校体験活動 幼稚園教育実習(含事前事後指導) 医療保育実習 公認心理師の職責 人体の構造と機能及び疾病 関係行政論 精神疾患とその治療 心理演習 心理実習1・2 行政法1・2 民法1・2
演 習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4
卒 論	卒業論文

〔現代社会学科〕

区 分	科 目 名
基 幹 科 目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 社会情報統計論1 社会調査法 社会調査論 社会経済史 現代社会と福祉2 医療福祉論

展 開 科 目	都 市 と 政 策	現代都市問題 名古屋学2 (名古屋と観光) 国内フィールドワーク NGO論 地域社会学 地方自治論 憲法1・2 民法1・2 行政法1・2 労働法 経済法 会社法 租税法 知的財産法 現代思想 地理学 都市政策論 社会情報統計論2 環境政策論 データ解析法 名古屋と行政 公共政策論 行政学 ESDインターンシップ実習 環境経済学I・II
	社 会 と 理 論	社会学史 社会思想史 労働社会学 社会的ネットワーク論 政治社会学 メディア社会学 マスコミュニケーション論 ジェンダー社会学 家族社会学(家庭支援論) ジェンダーと歴史社会 環境社会学 質的調査法 意思決定論 国際法 国際政治史 共生論 経済学原論 日本の歴史(日本近代史1・2) 外国史概論 アジア史 グローバリゼーション研究 哲学 宗教学 社会・集団・家族心理学B(家族心理学)
	福 祉 と 地 域	社会福祉援助技術方法1・2 社会保障論 地域福祉論 公的扶助論障害者福祉論 社会福祉援助技術総論 児童・家庭福祉論2 老人福祉論 更生保護論 コミュニティワーク論 社会福祉管理運営 精神保健の課題と支援 人体の構造と機能及び疾病 権利擁護を支える法制度スクール(学校)ソーシャルワーク論 スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習相談援助演習1・2・3・4・5 相談援助実習指導1・2 相談援助実習1・2
関 連 科 目	文化人類学 国際日本学概論 日本文化史2 文化資源論 日本文化論2 国際協力論 アジア文化論 アジア社会論 現代教育社会学 教育史 教育社会学 東南アジア地域研究 比較教育学	
演 習	基礎演習 社会調査実習1・2 社会理論演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒 論	卒業論文	

〔国際文化学科〕

区 分	科 目 名	
基 幹 科 目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論1 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 国際文化学 国際日本学概論 国際文化特講1・2 名古屋学1(名古屋学入門) 名古屋学2(名古屋と観光)	
展 開 科 目	日 本 文 化	文化資源論 人文情報学 日本文化論2 日本とグローバル社会 日本の歴史(日本社会史・日本近代史1・2) 日本文化史1・2 日本の文学1・2 Intercultural Studies 日本経済史 日本語・文化セミナー1・2 現代日本語論
	グ ロー バ ル 文 化	文化人類学 宗教学 哲学 共生論 国際協力論 NGO論 外国史概論 イギリス事情 国際政治史 地理学 国際法 社会思想史 憲法2 ジェンダーと歴史社会 アジア史 アジア社会論 アジア文化論 東南アジア地域研究 アメリカ政治史 アメリカ社会論 グローバリゼーション研究 Area Studies 経済学原論 国際経済学I・II 外国経済史
	言 語 ・ 異 文 化 コミュニケーション	英語文学概論 英語圏文化論 英語文学講読 英語学概論 英語学各論 英文法概論 英文法各論 英語音声学概論 英語音声学各論 Academic Presentation Academic Writing Research and Presentation Research and Discussion ドイツ語中級 フランス語中級 中国語中級 韓国語中級
	実 践 知 プロジェクト	英語短期研修A・B・C・D ヨーロッパ短期研修A・B・C アジア短期研修A・B・C ディズニーインターンシップ 海外フィールドワークA・B・C・D 国内フィールドワークA・B・C・D・E・F・G 国際センターインターンシップ短期・長期 国内ボランティア・インターンシップ1・2・3・4・5・6・7・8・9 ICTプロジェクトA・B・C・D 留学A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P
関 連 科 目	教職概論2 教育学概論2 特別支援教育2 教育制度論 教育課程論 教育方法論2	
演 習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒 論	卒業論文	

(5) 専門教育 (芸術工学部) 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科・建築都市デザイン学科

[情報環境デザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	インタラクションデザイン論 サウンドデザイン論 映像論 映像表現論 画像情報処理 画像情報処理演習 メディア工学 メディア工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 データサイエンス データサイエンス演習
展開科目	情報処理応用 感性工学 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 音楽情報論 映像プロデュース論 プロダクトデザイン論 デザイン人類学 広告論 感性表象論 視覚情報記号論 ロボット工学 生体情報工学 生体情報工学演習
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

[産業イノベーションデザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	ビジュアルデザイン論 コンピュータグラフィックス論 プロダクトデザイン論 視覚環境デザイン論 光電子工学 光電子工学演習 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習
展開科目	広告論 視覚情報記号論 デザイン人類学 プロトタイピング工学 プロトタイピング工学演習 音楽情報論 インタラクションデザイン論 感性工学 流体工学 流体工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

[建築都市デザイン学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(A) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	建築史 都市計画 建築環境工学 建築環境工学演習 建築構造学 建築計画 建築計画2 近現代建築史 構造力学 構造力学演習 建築環境心理論
展開科目	都市建築関連法規 建築材料 建築材料実験 建築環境計画 建築環境設備計画演習 建築設備論 建築設備設計学 スペースデザイン 建築構造計画法 構造設計法 建築生産 建築計画3 都市住環境論 地域空間構成論 都市景観デザイン論 ファシリティマネジメント論 建築家の仕事 ランドスケープ設計法
実 習	芸術工学実習(A) 1～6 建築表現実習1 建築表現実習2 建築都市フィールドワーク
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

(6) 専門教育（総合生命理学部）総合生命理学科

区 分		科 目 名
専門基礎科目		総合理学概論 総合理学実験入門 生命科学実験 物質科学実験 生態学 基礎生理学 適応生理学 進化学I 生物統計学 生命情報学I 生化学 分子生理学 細胞生物学 分子生物学I 物理化学 無機化学 有機合成化学 力学発展 物理数学 地学概論 数学要論 代数学Ⅰ～Ⅱ 幾何学Ⅰ～Ⅱ 解析学Ⅰ～Ⅱ 複素関数論 プログラミングⅠ 情報処理発展
専門科目	生命科学科目	生態測定学 応用生理学 古生物学 進化学Ⅱ 生命情報学Ⅱ 植物生理学 応用生物学 発生生物学 生物機能化学 分子遺伝学 分子生物学Ⅱ クロマチン生物化学 総合神経科学 放射線生物学 生命科学各論
	物質科学科目	機器分析化学 量子力学 統計力学 物性物理学 天体物理学 物質科学各論
	数理情報科学科目	代数学Ⅲ 幾何学Ⅲ 解析学Ⅲ 応用統計学 情報数学A, B プログラミングⅡ 数理情報科学各論
卒業研究関連科目		総合理学実習 専門演習Ⅰ～Ⅲ 卒業研究Ⅰ～Ⅲ
外国語科目		自然科学英語 グローバルコミュニケーション
専門関連科目		総合博物学 理科教育法1, 2 教育学概論2 教職概論2 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育2 教育課程論 教育社会学 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論2 ICT活用教育論 生徒・進路指導論 教育相談 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高)

<注意>

学生募集要項および出願書類所定用紙は、名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先：名古屋市立大学 学生課入試係 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
TEL (052) 853-8020 FAX (052) 841-7428 E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

●令和4年7月公表